コンテナ埠頭における情報処理システムの概要及び管理体制その他サイバーセキュリティの確保に関する許可基準

申請事項	○:申請必須 特定の港	○:申請必須 その他の港	申請内容 申請項目	選択	備考(記載を求める内容)	許可基準
1. ターミナルオペレーションシステム(TOS)の使用形態						
(1)所有者	○	○	TOSの所有者であるか。	はい／いいえ	「いいえ」の場合、TOSの所有者を備考欄に記載すること。	
(2)複数事業者での使用	○	○	TOSを複数の事業者で使用しているか。	はい／いいえ	「はい」の場合、関係する事業者による申請・届出の時期を合わせること。	
(3)運用管理者	○	○	TOSの運用・管理を行っているか。	はい／いいえ	(2)、(3)ともに「はい」の場合、当該TOSを使用している事業者(使用事業者)名を「(5)使用事業者」の備考欄に記載すること。 「いいえ」の場合、TOSの運用・管理を行う者を備考欄に記載すること。	運用管理者又は代表事業者と使用事業者との申請内容に齟齬がないこと。
(4)代表事業者	○	○	港湾運送事業者以外の者がTOSの運用・管理を行っている場合、使用事業者の中から便宜的に代表事業者を立てることができる。 代表事業者を立てた場合、代表事業者であるか。	はい／いいえ	(2)、(4)ともに「はい」の場合、当該TOSを使用している事業者(使用事業者)名を「(5)使用事業者」の備考欄に記載すること。	
(5)使用事業者	○	○	TOSの運用・管理は行っておらず、使用しているのみであるか。	はい／いいえ	(2)、(5)ともに「はい」かつ港湾運送事業者である運用管理者又は代表事業者が存在する場合、その事業者名を該当する項目の備考欄に記載すること。この場合、「2. TOSに必要な情報セキュリティ対策」の記載を省略することができる。 (2)、(5)ともに「はい」かつ港湾運送事業者である運用管理者及び代表事業者が存在しない場合、各事業者において「2. TOSに必要な情報セキュリティ対策」を記載する必要がある。	
2. TOSに必要な情報セキュリティ対策						
(1)資産の把握	○	○	TOSの機器構成、ネットワーク構成、コンテナターミナル内ネットワーク内の機器、端末の接続状況、TOSネットワーク外からの接続状況等を把握しているか。	はい／いいえ	別途システム概要図(例:様式Ⅰ－7別添)を提出すること。 システム概要図に変更が生じる場合には、変更認可申請を行うこと。	システム概要図にTOSの機器構成及びネットワーク構成(コンテナターミナル内ネットワーク内の機器及び端末の接続状況並びにTOSネットワーク外からの接続状況)が記載されていること。
(2)外部との接続 ア. VPNルータ等のネットワーク機器	○	○	外部接続するネットワーク機器の接続元IPを限定しているか。	はい／いいえ		外部接続するネットワーク機器(ルータ等)の接続元のIPアドレスを指定することで接続元を限定していること。
	○		外部接続ユーザの認証方式について、知識情報(パスワード等の利用者本人のみが知り得る情報)、所有情報(電子証明書を格納するICカード、ワンタイムパスワード生成器、利用者本人のみが所有する機器等)及び生体情報(指紋、静脈等の本人の生体的な特徴)のうち複数の情報を必要とする認証方法となっているか。	はい／いいえ	備考欄に具体の認証方法を記載すること。	外部接続ユーザの認証方式について知識情報(パスワード等の利用者本人のみが知り得る情報)、所有情報(電子証明書を格納するICカード、ワンタイムパスワード生成器、利用者本人のみが所有する機器等)及び生体情報(指紋、静脈等の本人の生体的な特徴)のうち複数の情報を必要とする認証方法となっていること。
	○	○	外部接続ユーザに対するアカウントロック機能が機能しているか。	はい／いいえ	備考欄にアカウントロック機能が有効となる試行回数を記載すること。	外部接続ユーザに対するアカウントロック機能が有効に機能していること。
	○	○	外部接続するネットワーク機器上で利用しているソフトウェアの情報を定期的に確認し、必要に応じて更新しているか。	はい／いいえ		外部接続するネットワーク機器上で利用しているソフトウェアの情報を定期的に確認し、必要に応じて更新していること。定期的な確認の頻度は、「2. コンテナターミナルの運用に必要な情報セキュリティ体制(5)脆弱性や設定不備の定期検査」の申請内容を確認し概ね1ヶ月以内であることを確認する。
イ. 外部記憶媒体(USBメモリ等)	○		USBメモリ等の外部記憶媒体の利用は禁止しているか。やむを得ず利用する場合もTOSとは切り離された端末によりウイルスチェックを行うなど、安全を確認してから使用しているか。	はい／いいえ	やむを得ず利用する場合には、備考欄に安全の確認方法を記載すること。	USBメモリ等の外部記憶媒体の利用は禁止していること。 やむを得ずこれを利用する場合には、事前にTOSとは切り離された端末によりウイルスチェックを行うなど、安全を確認してから使用していること。
(3)TOSネットワーク内のサーバ機器、ネットワーク機器	○	○	TOSネットワーク内のサーバ機器及びネットワーク機器のログを取得しているか。	はい／いいえ	備考欄に取得対象を記載すること。	TOSネットワーク内のサーバ機器及びネットワーク機器のログを取得していること。
	○	○	管理者用の初期ID及びパスワードは、失効又は変更するなど、適切な管理を行っているか。	はい／いいえ		管理者用の初期ID及びパスワードは、失効又は変更するなど、適切な管理を行っていること。
	○	○	管理者用のパスワードは簡単に推測されない複雑なものとしているか。	はい／いいえ	12文字以上、大小英文字＋数字＋記号を推奨	管理者用のパスワードは簡単に推測されない複雑なものとしていること。
(4)バックアップ	○	○	システム障害やサイバー攻撃発生に備え、バックアップを適切に取得しているか。	はい／いいえ	備考欄にバックアップの対象及び取得頻度を記載すること。 なお、バックアップを取るべき主な対象として、システムプログラム、コンテナ情報などの動的データ、システムログ等を推奨する。直近のバックアップ取得時点からサイバーセキュリティ事案発生時までの更新情報が失われる可能性を考慮し、バックアップ対象ごとにバックアップの取得頻度を決定すること。	バックアップ対象が適切であること。 バックアップ対象ごとに適切なバックアップの取得頻度となっていること。
	○	○	例えば外部記憶媒体に保存する、保存の際だけTOSに接続するなど、TOS外にバックアップを保存しているか。	はい／いいえ		TOS外にバックアップを保存していること。 なお、バックアップの保存方法として、外部記憶媒体への保存、保存の際のみのTOSへの接続などが挙げられる。
(5)外部委託を行う場合の情報セキュリティの確保	○	○	TOSの開発・保守等を外部委託する際は、委託先の選定手続、選定基準及び委託先が具備すべき要件を予め規定しているか。また、委託先に請け負わせる業務における情報セキュリティ対策、機密保持(情報の目的外利用の禁止を含む。)、システム障害に対する対処手順及び情報セキュリティ対策の履行が不十分である場合の対処手順を含む契約を取り交わしているか。	はい／いいえ		TOSの開発・保守等を外部委託する際に、委託先の選定手続、選定基準及び委託先が具備すべき要件を予め規定していること。 また、委託先に請け負わせる業務における情報セキュリティ対策、機密保持(情報の目的外利用の禁止を含む。)、システム障害に対する対処手順及び情報セキュリティ対策の履行が不十分である場合の対処手順を含む契約を取り交わしていること。
3. コンテナターミナルの運用に必要な情報セキュリティ体制						
(1)組織・体制の確立 ア. 最高情報セキュリティ責任者等の指定	○		情報セキュリティ対策の推進の責任者(執行役員クラス以上)を指定しているか。	はい／いいえ	備考欄に責任者の役職及び氏名を記載すること。	情報セキュリティ対策の推進の責任者(執行役員クラス以上)が指定されていること。
	○	○	情報セキュリティ担当者を指定しているか。	はい／いいえ	備考欄に担当者の所属及び氏名を記載すること。複数名にて役割分担しても構わない。	情報セキュリティ担当者が指定されていること。複数名にて役割分担しても構わないこととする。
	○		サイバー攻撃が発生した場合等に備え、脆弱性情報などの収集と分析、インシデント発生時の対応、社内外の組織との情報共有や連携を行う体制が取られているか。	はい／いいえ	備考欄に具体的な体制を記載すること。	サイバー攻撃が発生した場合等に備え、脆弱性情報などの収集と分析、インシデント発生時の対応、社内外の組織との情報共有や連携を行う体制が取られていること。
イ. セキュリティインシデント対応手順の策定	○		サイバー攻撃が発生した場合等に備え、被害の拡大防止、システム障害復旧、原因調査等に必要な報告や対応の手順などを策定しているか。また、訓練を実施しているか。	はい／いいえ	対応手順の概要が分かる資料(目次など)を提出すること。また、備考欄に訓練の実施頻度を記載すること。	サイバー攻撃が発生した場合等に備え、被害の拡大防止、システム障害復旧、原因調査等に必要な報告や対応の手順などを策定していること。また、訓練を実施していること。
(2)BCP	○	○	システム障害やサイバー攻撃を想定したものを含むBCP(事業継続計画)を策定しているか。また、訓練を実施しているか。	はい／いいえ	BCPの概要が分かる資料(目次など)を提出すること。また、備考欄に訓練の実施頻度を記載すること。	事業の継続を目的として、優先する業務、必要な対策を決定するまでの過程、業務継続方法、連携を要する関連部門、対外的な情報発信等を規定するBCPについて、システム障害やサイバー攻撃を想定したものを策定していること。また、訓練を実施していること。
(3)情報セキュリティに関する情報収集	○		サイバー攻撃が発生した際の初動対応時の相談先となりうる者(セキュリティベンダー、セキュリティ専門機関、都道府県警察等)と平時から情報交換等を行っているか。	はい／いいえ	備考欄に取組内容を記載すること。	サイバー攻撃が発生した際の初動対応時の相談先となりうる者(セキュリティベンダー、セキュリティ専門機関、都道府県警察等)その他必要な相談先と平時から情報交換等を行っていること。
(4)情報セキュリティ意識の向上及び情報セキュリティ教育・訓練	○	○	情報セキュリティ関係規程を組織全体に周知するなど、組織内における情報セキュリティに対する意識の向上を図るとともに、情報セキュリティに係る教育・訓練などを実施しているか。	はい／いいえ	備考欄に取組内容を記載すること。	情報セキュリティ関係規程を組織全体に周知するなど、組織内における情報セキュリティに対する意識の向上を図るとともに、情報セキュリティに係る教育・訓練などを実施していること。
(5)脆弱性や設定不備の定期検査	○	○	外部接続するネットワーク機器上で利用しているソフトウェアについて、当該ソフトウェアに関する脆弱性対策に必要となる情報を収集し、脆弱性対策の状況を定期的に確認しているか。	はい／いいえ	備考欄に確認頻度を記載すること。	外部接続する端末及びネットワーク機器上で利用しているソフトウェアについて、当該ソフトウェアに関する脆弱性対策に必要となる情報を収集し、脆弱性対策の状況を定期的(概ね1ヶ月以内)に確認していること。
(6)情報セキュリティ対策の点検	○		自己点検だけでなく、独立性を有する者による情報セキュリティ対策の点検を定期的に実施しているか。	はい／いいえ	備考欄に点検頻度を記載すること。	独立性を有する者による情報セキュリティ対策の点検を定期的(概ね年1回)に実施していること。

申請事項	○:申請必須 特定の港	○:申請必須 その他の港	申請内容 申請項目	申請内容 選択	申請内容 備考(記載を求める内容)	許可基準
4. その他						
	○	○	**TOSの使用者と所有者が異なる場合(TOSの所有者が港湾運送事業者の場合を除く)**、使用者と所有者との間で一般港湾運送事業の適正かつ確実な実施の確保に必要な措置を講ずるためのTOSの運用及び管理に関する契約が締結されているか。	はい／いいえ	契約書の写しを添付すること。	以下に掲げる点すべてが契約において確保されているかを確認すること。 ①使用者が、所有者から、TOSに関し必要な情報の提供を受けることができること ②使用者が、自らTOSに関し必要な検査又は点検を実施できること ③国から勧告等を受けた場合に、使用者が、所有者に対し、TOSの運用及び管理に関し必要な措置を講ずるよう求めることができ、当該所有者は、その求めがあったときは、正当な理由がある場合を除き、当該措置を講ずること

留意点

・「特定の港」に○が記載されている項目は、特定の港(京浜港、名古屋港、大阪港、神戸港、博多港)に係る事業計画において記載が必要。

・「その他の港」に○が記載されている項目は、上記の特定の港を除く港湾運送事業法適用港に係る事業計画において記載が必要。

・ 令和6年3月31日時点ですでに許可を受けている一般港湾運送事業者が、サイバーセキュリティに係る事業計画の最初の変更認可を受けるまでの間に、上記、サイバーセキュリティの確保に関する許可基準を満たすことができない場合、備考欄に許可基準を満たす時期を記載すること。また、許可基準を満たした際には、速やかに申請又は届出を行うこと。

・ 上記サイバーセキュリティの確保に関する許可基準を満たすことができない場合であって、代替措置を執ることにより同様の効果を発揮することができる場合、備考欄に当該代替措置の内容について記載すること。

・ TOSが外部接続していないなど、許可基準を満たす必要が無い場合、備考欄にその旨を記載すること。

・ 2.(1)に係るシステム概要図、3.(1)イに係る対応手順、3.(2)に係るBCPの概要に変更が生じる場合には、事業計画の変更認可申請を行うこと。それ以外の記載内容に変更が生じる場合には、事業計画の変更の届出を行うこと。ただし、2.(1)アに係る責任者及び担当者の変更に関しては、2年を超えない期間の変更をまとめて届け出ても差支えない。

用語の定義

TOS : ターミナルオペレーションシステムの略。①船舶への貨物の積込、船舶からの貨物の取卸に対する計画の管理を行う本船プランニング機能 ②コンテナターミナル内におけるコンテナの配置計画の管理を行うヤードプランニング機能 ③コンテナターミナル内におけるコンテナの管理・監視等を行うヤードオペレーション機能 及び、各機能を総合的に管理するとともに、ゲート管理や外部システムとの連携を行うシステムのことをいう。

TOSネットワーク : TOSを含むサーバ群及びネットワーク機器等のことをいう。

コンテナターミナル内ネットワーク : コンテナターミナルからTOSを利用する操作端末類のネットワークのことをいう。

外部 : TOSネットワーク外のことをいう。ただし、コンテナターミナル内ネットワークを除く。

外部接続 : 外部からTOSネットワークへ直接接続することをいう。

外部接続ユーザ : 外部からTOSネットワークに直接接続するユーザのことをいう。

ネットワーク機器 : VPNルータ等の機器のことをいう。

アカウントロック機能 : 不正ログインに対応するため、一定の回数ログインに失敗したユーザが、指定期間、ログイン操作ができなくなる機能のことをいう。

ログ : アクセスログ、システムログ等のことをいう。

独立性を有する者 : TOSの構築ベンダー及び保守ベンダー以外の者のことをいう。